



緑萌ゆ

新宮小・中学校長だより 2021.2.8

Chromebook(クロームブック)活用に向けて

国のGIGA(ギガ)スクール構想によるICTの環境整備が、四国中央市でも着々と進んでいます。本校でも各教室にWi-Fi(無線回線)環境が整い、全校児童生徒に一人一台のタブレット型パソコンChromebook(クロームブック)が貸与・配布されました。なお、年度末に向けて回線環境の整備などがさらに行われていくことになっております。

Chromebookは、ソフト類がクラウド上にあるため、画面が数秒で立ち上がり、素早く使うことができる利点があります。また、今回採用された機種は、GIGAスクール構想に対応して、衝撃に強い設計となっており、コンパクトな大きさで使いやすい特徴があります。学習の中では、例えば次のような場面で活用できると考えています。

- 授業の始めや終わりに、小テストを教師機から児童生徒機に送って解答する。瞬時に正解・不正解が判別されて、答案用紙を集めたり、教師の丸付けの列で待ったりする時間が短縮できる。
- 教科書のQRコードを読み込んで、関連する映像を見たりポイントを確認したりできる。
- 全員がそれぞれの端末から同じ画面に同時に書き込めるソフトを使って、意見やアイデアを出し合って、まとめたり整理したりできる。
- 「NHK for school」などに接続して、教育コンテンツの映像を視聴できる。
- 市で導入・契約する予定のドリル教材を、朝ドリルや、授業中の課題が早く終わった時の補充学習や自宅での自主学習に活用できる。
- 写真撮影機能を使って、図工・美術作品や理科の実験結果を写真撮影して記録したり、社会見学や自然観察の映像を残して、振り返りやまとめに使用したりできる。
- 動画撮影機能を使って、体育の時間にお互いの演技を映し合って、自分のフォームをチェックしたり、英語の発音を自撮りして自分の発音をチェックしたりできる。

先日校内研究授業を行いました。実施した3クラスともICT機器を授業の中で活用した授業でした。小学校では、算数科における、プログラミング学習として、ある数が指定された数の倍数になるかどうかを判定するためのプログラムを作成していました。また、中学校では英語科で、授業の始めに既習の英単語や英文を問う小テストをPC上で行って、短時間で復習を行っていました。社会科ではPC上にある地図データから気付くことを、それぞれのPCから同時に一つのシートに入力してそれぞれの気づきを共有したり、教師機から送られたアドレスにアクセスして新たな地図について調べたりする学習を行っていました。情報機器の活用の様子は、学校HPや学級だよりなどを通じてお伝えしている通りです。先日、1月12日から23日の2週間で、授業でChromebookを何らかの形で使用した授業数を調べてみました。結果は、低学年も入れて小学部で32%、中学部では43%で、まだ導入初期の段階ですが活用が進んでいることがうかがえます。

文部科学省では、情報端末を文房具として、定規やコンパスのように、授業中の必要な一場面で活用できるスタイルを想定・推奨しています。もちろんまとめ学習などで、一時間のほとんどで使用することもあると思いますが、学習スタイルがPC上にすべて置き換わっていくということではありません。これまでの学習スタイルの良さの中で、便利な道具の一つとして情報端末を使っていくということです。どのような使用方法がよいか工夫改善しながら、より効果的な活用ができるよう今後も研修を深めていきます。